

号外

琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

2015年(平成27年)

5月17日(日)

発行所 琉球新報社
郵便番号 〒900-8525
那覇市天久905番地
©琉球新報社2015年

新基地阻止内外に

那覇で「止めよう辺野古県民大会」

圧倒的民意を発信



日米両政府に辺野古新基地建設断念を訴えるため結集した県民ら＝17日午後0時半ごろ、那覇市の沖縄セルラースタジアム那覇

「戦後70年 止めよう辺野古新基地建設! 沖縄県民大会」(同実行委員会主催)が17日午後1時から那覇市の沖縄セルラースタジアム那覇で開かれた。2014年の名護市長選、県知事選、衆院選などで相次いで示された辺野古新基地建設反対の民意をあらためて国内外に発信するため、県内外から数万人が集まり会場を埋め尽くした。今夏にも埋め立て本体工事に着手しようとする日本政府に、翁長雄志知事を先頭に工事中止と計画撤回を求める歴史的な大会となった。辺野古新基地建設・県内移設断念と普天間飛行場の閉鎖・撤去を要求する決議を採択する。

大会決議では、沖縄戦から70年や戦後27年間の米統治に触れた上で、「日本復帰して43年を迎える今も米軍基地があるがゆえの事件や事故に苦しみ続けている」と指摘。「首脳会談で辺野古新基地建設推進を再確認した日米両政府の姿勢は、日本の民主主義と地方自治の根幹を破壊する暴挙だ。普天間基地の閉鎖・撤去こそが『唯一の解決策』だ」と表明し、辺野古新基地建設を断念するよう求めている。

参加者は、辺野古の海や大浦湾をイメージした大会シンボルカラー「青」の衣服や小物を身に付け、会場を青く染め上げた。

普天間基地閉鎖・撤去こそ「唯一の解決策」

大会決議(案)

ことは戦後70年の節目の年である。私たち沖縄県民は悲惨な地上戦により住民の4人に1人が犠牲となった。戦後27年間は米軍占領統治下に置かれ、日本国憲法は適用されなかった。本土復帰から43年目を迎える今も、米軍基地があるが故の事件や事故に苦しみ続けている。私たち沖縄県民は長年にわたり、自ら望んで持ってきたわけではない米軍基地を挟み、「容認派・反対派」と県民同士が対立し、分断され続けてきた。

主義の在り方を問うている。私たち沖縄県民は自ら基地を提供したことは一度もない。普天間基地も住民が収容され、その後も銃剣とブルドーザーによる土地の強制接収によって拡張されてきた。これは占領下においても私有財産の没収を禁じたハーグ陸戦法規に明白に違反するものである。国際法に違反し造られた米軍普天間基地は閉鎖・撤去こそが「唯一の解決策」である。

こうした中、昨年の名護市長選挙、名護市議選挙、沖縄県知事選挙、衆議院選挙の沖縄4選挙区の全てで、米軍普天間基地移設に伴う名護市辺野古への新基地建設反対の圧倒的民意が示された。ところが、安倍政権は、前知事が公約を翻し行った公有水面埋め立て承認を盾に、民意を無視して辺野古新基地建設を「粛々と」強行している。翁長雄志県知事による海上作業の停止指示を無視し、反対する市民に対しては、海上保安庁や沖縄防衛局による過剰警備によって弾圧を加えている。また、去る4月28日、沖縄県民にとっての屈辱の目には、日米首脳会談において辺野古新基地建設推進を再確認している。

辺野古新基地建設を巡るこの19年間に於いて、今がまさに正念場である。今新基地建設を止めなければいつ止めるのか。私たち沖縄県民は2013年1月に安倍総理に提出した建白書を総意として「オスプレイの配備撤回、普天間基地の閉鎖・撤去、県内移設断念」を強く求めている。保革を超えて私たち県民がつくり上げた、この沖縄の新たな海鳴りは、沖縄と日本の未来を拓く大きな潮流へと発展しつつある。道理と正義は私たちにあり、辺野古に基地を造ることとは不可能である。子どもたちや孫たち、これから生まれてくる次の世代のためにも、私たち沖縄県民は決して屈せず、新基地建設を断念させるまで戦うことをここに宣言する。

こうした日米両政府の姿勢は、「自治は神話だ」と言い放った米軍占領統治下の圧政と何も変わらない。沖縄県民の意思を侮辱し、日本の民主主義と地方自治の根幹を破壊する暴挙である。もはや「辺野古」は沖縄だけの問題ではない。私たちは今、この国の民主

よって、日米両政府は県民の民意に従い、米軍普天間基地を閉鎖・撤去し、辺野古新基地建設・県内移設を断念するよう強く要求する。以上、決議する。

2015年5月17日 戦後70年 止めよう辺野古新基地建設! 沖縄県民大会

2015年5月17日 戦後70年 止めよう辺野古新基地建設! 沖縄県民大会

「新基地NO」のプラカードを掲げる人たち。親子連れの姿も数多く見られた。17日午前11時30分ごろ



辺野古新基地建設に反対の意思を示そうと集まった多くの県民=17日午前11時30分ごろ、沖縄セルラースタジアム那覇



開場を待つ県民大会参加者ら=17日午前10時56分



県民大会の会場に向けて満員で出発するバス。参加者がおにぎりを差し入れた=17日午前10時ごろ、北中城村仲順の村中央公民館前



ジュゴンの人形を前に新基地建設反対の意思を示す参加者=17日午前11時52分ごろ